



朝夕の冷え込みに冬の訪れを感じるようになりました。家の中に閉じこもらずに、今月も元気に遊びに来てくださいネ！



### たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 11月16日 (木) 午前10:30~
  - ・ 12月7日 (木) 午前10:30~
- 小さなお子さまのためのおはなし会です。  
親子で一緒にお越しください。
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室

### 高校生ボランティアのおはなし会

- ・ 12月2日 (土) 午前10:30~
- アンパンマンの紙しばいや楽しいおはなしがいっぱい。おはなしのあとには、たのしい工作教室があります。
- ・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ

### 婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 12月9日 (土) 午後2:00~
- おはなしじょうずなボランティアが、昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでくれます。
- ・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ室

### 読書会

- ・ 12月13日 (水) 午後1:30~
- テキスト  
「国家の品格」  
藤原正彦／著
- 和やかな雰囲気です語りあっています。興味のある方はお気軽にどうぞ。
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室



### 今月の表紙

通常点検は、消防団員の士気の高揚と結束を高めるとともに、日ごろの訓練の成果を披露するために行われています。「人員並びに服装点検」、「機械器具の点検」は、町民グラウンドを会場に、分列行進は馬頭中学校ブラスバンド部を先頭に市街地で行われました。

武茂川堤防に30台の消防車が勢揃いし、一斉に放水を始めた放水点検は、とても頼もしいものでした。

### ★なかよしひろば

- ・ 11月17日 (金) 午前10:00~
- ダンボールであそぼう。
- ・ 参加申し込み 15日 (水) まで
  - ・ おやつ代 50円

### ★料理教室

- ・ 11月23日 (木) 午前10:00~
- 巻きずしをつくろう。
- ・ 参加申し込み 21日 (火) まで
  - ・ 持ってくるもの エプロン、三角巾、巻きずし (ある人)
  - ・ 参加費 100円 ※爪を切ってきてね

### ★鬼ごっこをしよう

- ・ 11月25日 (土) 午前10:00~
- いろいろな鬼ごっこでたのしくあそぼう。

### ★生け花教室

- ・ 11月25日 (土) 午後1:30~
- 秋のお花をステキに生けましょう。
- ・ 花代 700円
  - ・ 参加したい方は21日 (火) までに申し込んでね。

### ★なかよしひろば

- ・ 12月5日 (火) 午前10:00~
- 新聞紙であそぼう。
- ・ 参加申し込み 1日 (金) まで
  - ・ おやつ代 50円

### ★クリスマスグッズをつくろう

- ・ 12月10日 (日) 第1回 午前10:00~
  - ・ 第2回 午後1:30~
- かわいいオーナメントをつくろう。
- ・ 参加申し込み 6日 (水) まで
  - ・ 材料費 100円

「児童館」  
11月16日~12月15日  
のお休み

開館時間 午前9時~午後4時

☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
				11/16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	12/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	

※11月~2月は4時閉館になります。

古代の印鑑

現在、私たちは公の書類などで自分を証明する「しるし」として「印鑑」を用います。現在のように一般の人々が印鑑を用いるようになったのは、一般の人々に苗字が許可された明治時代以降のことです。

日本で正式に印制度が確立されたのは、今から約一、三〇〇年前に中国の制度に倣った律令国家になってからでした。中央政府と地方との公文書のやりとりには、本物であると証明する「印」が必要となったのです。

古代では誰もが自由に印鑑を所持してもよいというわけではなく、天皇のほか、朝廷から許可を受けた上層階級の人たちに限られていました。また、官公庁の印など一部の役所しか所持できませんでした。当時の法律の注釈書である『令義解』では税として納める布に各国の「国印」を押すことが定められています。

現在でも国印の押された布や公文書が正倉院などに数多く残されています。

当資料館で展示している那須官衙遺跡から出土した銅製の印鑑は昭和十五年、現在銅印基壇として整備されている畑の耕作中に発見されました。昭和二十九年には国重要文化財に指定され、東京国立博物館に保管されています。

つまみの部分は二ワトリの頭の形をしており、ヒモを通す孔があいています。一辺三・九四センチの方形で、高さが三・七六センチあります。印面には「蔭□私印」(□は不明文字を表します)と刻まれています。「蔭□」は姓と名の一字の可能性がありま

す。那須所で使用される印鑑には公印以外に私用の印(私印)があったと思われる。印の形や印文から、那須官衙遺跡から出土した銅印は平安時代初期の私印と考えられています。

このように、印鑑を持つことは権力、地位、財力の象徴でした。那須でも私印の所持がおり、地域の統治にあたったと考えられます。それだけ中央政府からみても那須地域が重要な位置にあつたのでしよう。

この銅印は官衙や那須地域の役割を考える上でも、貴重な「印」といえるのです。(なす風土記の丘資料館 学芸員 金子智美)



銅 印

うぶざいえ

(氏名) (父母の名) (住所)

深澤 晴	正樹	馬頭	松山 果愛	厚夫	馬頭	三尾谷 静也	真一	馬頭	大金 洸祐	智子	小口	佐藤 涼祐	敦子	久那瀬	長山 心愛	好美	盛泉	菊地 陽光	耕美	大内	松岡 杏胡	麻智	小川	川味 滉一朗	智行	小川	青木 希未	康彦	三輪
------	----	----	-------	----	----	--------	----	----	-------	----	----	-------	----	-----	-------	----	----	-------	----	----	-------	----	----	--------	----	----	-------	----	----

平成18年9月21日  
平成18年10月20日受付分  
※掲載は希望者のみです。  
(敬称略)

おくやみ

(氏名) (年齢) (住所)

栗田 佐内	健武	益子 欣壽	和見	小高 秀男	和見	松本 淳一郎	松野	八嶋 実	松野	高野 一夫	富山	河野 サク	富山	星 政衛	大内	菊地 錦壽	大内	露久保 一太郎	大内	露久保 一太郎	大内	大金 讓	大内	星 ヨシノ	谷田	川井 金一	東戸田	大森 浩二	浄法寺
-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	---------	----	---------	----	------	----	-------	----	-------	-----	-------	-----

11月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男	10,059人 (-13)
女	10,106人 (-8)
計	20,165人 (-21)
世帯数	5,977 (-1)

( )内は前月との比較